

東郷町の様々な職場で活躍する女性にインタビュー

「おいしい」が一番の喜び

農業大学校在学中、J A あいち尾東から東郷いちじく分科会会長を紹介していただき、農地も貸していただいたので、就農しました。生涯現役の仕事をしたかったこと、食に興味があったこと、果樹を育てるのが楽しかったことなど、色々な要素がありチャレンジしてみました。

周りの人たちにも恵まれ、本来ライバルにあたるいちじく農家の方々と技術の底上げなど、協力してやっていける環境に感動しています。

工夫した部分で成果が出たときや、いちじくの購入者から「おいしかった」と言っていただくとやりがいを感じます。

歳をとってもやっていける農業を基にした仕事や生活環境を、友人などを巻き込んで作っていかれたらと思っています。



いちじく農家
栽培・販売・加工
.....
やまもと
山本 あゆみさん

東郷町男女共同参画審議会では町の「女性の活躍促進宣言」を受け、町内で活躍する女性のロールモデルとして、様々な職業分野で働く女性にインタビューをしました。

女性社員をバックアップする環境作りに奮闘中

近藤さん

令和2年4月、約7年ぶりに女性係長が誕生しました。最近は性別に関係なく能力や適性に応じて仕事の配分を決めています。女性の配属先を増やしたり、夜勤用の休憩室を整備したりと、働きやすい環境作りに取り組んでいます。

西尾さん

2人の子育て中なので家族に助けをもらいながら仕事をしています。「従業員はお客様」をモットーに、より従業員が働きやすい環境作りをしたいと思います。

湯浅さん

取引先から「湯浅さんなら」と言ってもらえるような信頼関係を目指し、今まで学んできた分野外の事も積極的に勉強しています。しかし、仕事だけでなく、旅行などの趣味も大切にしながらバランスよく働き続けていきたいです。



株式会社
東郷製作所
.....
こんどう ひろゆき
人事課長 近藤 宏之さん
にしお よしみ
人事課 西尾 幸美さん
ゆあさ あい
調達一課 湯浅 愛さん

「花を楽しむ場」を提供したいと思い起業

大学で、住居・インテリアの勉強をしていましたが、フラワーアレンジメント教室に通ったのがきっかけで、花に魅了され本格的に勉強するようになりました。

生まれ育った東郷町に還元できたらという思いや、町内には少ない「花を楽しむ場」を設けられたらという思いから起業しました。

今ではフラワーアレンジメントなどのレッスンやイベントのディスプレイ、手作りマルシェなどの出店をしています。

子育てをしていると予期せぬ出来事が起こり、仕事との両立が難しいときもありますが、自分のデザインを生徒さんに教えた際「素敵！可愛い！色合いが抜群！」と言われたときは、頑張って考えてよかったと思います。

起業の事で分からないことは、東郷町商工会で色々教えていただき、今でも分からないことがあれば助けてもらっています。



ハナマルク
Hanamaruku
フラワーデザインスクール
.....
こんどう くみこ
近藤 久美子さん



10and.-てんと-
マルシェやセミナーの開催
.....
かじ けいこ
梶 景子さん

自分の育児経験を基に「母と子の支援」を実現

子育て中の母親の息抜きや自己実現ができる場をもっと広げたいという思いから町民団体「10and.-てんと-」を立ち上げました。「母と子が、いきいき楽しく暮らせるまちに」を目指し、子育てセミナーやマルシェを開催しています。

家庭や活動など、何か一つに偏り過ぎないように「自分にしかない事＝家族を優先する事」を大切にしたいと思っています。

イベントに多数の参加者がいたときや、活動や知識を必要としてくださる方、活かしてくださる方に出会えるとやりがいを感じます。

今後は商業施設とのコラボレーションや、町のイベントや施設を活かせるような活動を企画したいと思っています。

また、不安や課題はありますが、社会的責任をもっと果たしていけるよう、法人化も考えています。

子どもの成長した姿や喜ぶ姿がやりがいに

幼い頃から手先を動かすことが好きで、美術の勉強ができる教育大学に進学したことがきっかけで教員の道に進みました。

子育て中は仕事との両立が大変でしたが、周りの支えがあったからこそ続けることができました。

今では、育児休業が長く取れるようになったり、出産・育児・介護等に関わる休暇が増えてきたりしており、以前より女性教職員は、働きやすくなってきていると感じ、ありがたく思います。

教師として子どもの成長した姿や何かをやりとげて嬉しそうにしている姿には感動し、やりがいを感じます。

教員歴は38年になり退職目前ですが、今後はものづくりなどをしみつつ、教育の場にも関わる生活がしたいと思っています。



高嶺小学校
校長
.....
こんどう あやこ
近藤 文子さん

今までは、女性が働き、輝き続けるためには、子育てとの両立が課題であり、それを周りのサポートやご自身の努力で乗り越えていらしたことがわかりました。

今後は、子育てや家事のみならず、趣味も含めて、仕事と生活の調和がとれ、性別にとらわれることなく、皆が様々な場で活躍できる社会になっていくべきでしょう。

そのためには、家庭内役割は女性役割である等のアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)に気づき、対処していく必要があるでしょう。



東郷町男女共同参画審議会 副会長
よしだ
吉田 あけみ